



TOYOTA
GAZOO Racing

ニュルブルクリンク24時間レース

2015 Race Result

- LEXUS LFA Code X [Drivers: 影山正彦 / 石浦宏明 / 大嶋和也 / 井口卓人]
SP-PROクラス優勝/総合14位 (147周)
- LEXUS RC [Drivers: 木下隆之 / 佐藤久実 / 蒲生尚弥 / 松井孝允]
SP3Tクラス4位/総合39位 (131周)

“いいクルマづくりセンサー”を

さらに研ぎ澄ませて—

“世界で最も過酷なコース”と言われるノルドシュライフェを有するドイツ・ニュルブルクリンクで毎年開催される24時間耐久レース。TOYOTA GAZOO Racingは、このレースに2007年から参戦し続けている。目的は勝ち負けだけではない。レースを通じて人とクルマを鍛え、“いいクルマづくり”にフィードバックするためだ。

2015年を戦うレース車両は、[LEXUS LFA Code X]と[LEXUS RC]の2台。メカニックを担当するのは、トヨタ社内の各部署から選抜された20~30代の若手12名だ。

「はっきり言って、僕らはレースでは素人です。その僕らがつくったクルマに、プロのドライバーは命を預けてくれる。怖いんです。だからこそ、全身全霊でクルマを仕上げなければいけない」。今年初めてレースを経験するメカニックは、自身の責任の重さを感じながら語った。

3月下旬、車両の調整とトレーニングを重ねた国内準備を終え、チームはニュルブルクリンクでのシェイクダウン(慣らし運転)の日を迎えていた。そのピットにチーフメカニックの怒鳴り声が響く。「モタモタしてん

な!走れ!!」。若手メカニックたちは慌てて工具を手に走る。限られた時間の中で迅速に問題点を見つけ、的確に対応し、1秒でも早く車両をコースに戻す作業は、まさにドライバーがタイムを1秒縮めるのに相当するほど壮絶で、貴重な。その時間感覚は本番でも求められる。少しも気は抜けない。

こうして“いいクルマづくり”に費やす日々はいよいよクライマックスを迎える。2015年5月16日、2台は爆音の中、ついに決勝のスタートを切った。

レース序盤は不安定な天候に悩まされる。慌ただしくタイヤ交換を行うが、慣れた作業にも焦りが生じる。「レースは時間を圧縮する」と語るのは、前回チーフを務めた先輩メカニック。レースでは、普段は1分かかるとも10秒でこなさなければならない。だからこそ、1秒たりとも無駄にできないプレッシャーの中で、「今、何をすべきか」が問われるのだ。

万全を期したはずの2台だが、22時間を過ぎた頃、同時に悲鳴を上げる。LFAは6速に入らない、RCは電

気系のトラブルが発生。どちらも高速走行に支障を来すレベルだが、どうにか走ることはできる。あと1時間。全員が祈る気持ちで車両を送り出す。人も車両も限界寸前の中、2台は最終ラップを走り抜き、何とか完走することができた。

2台のゴールを迎え、若手メカニックの心には歓喜と安堵が入り交る。同時に、課題と悔しさも多く残った。特別で濃密な時間を過ごした彼ら。その中の一人が涙を浮かべながら言った。

「この24時間で、自分の人生が変わったかもしれない。自分が一生をかけて追いかける道が決まったような気がします」。

LFAは総合14位でクラス優勝、RCは総合39位でクラス4位という結果を残した。

しかし、ニュル24時間での結果は、決して“ゴール”ではない。いいクルマづくりのための“スタート”なのだ。来年はニュル参戦10周年。TOYOTA GAZOO Racingの挑戦はこれからも続いていく。

世界三大レースのひとつ、ル・マン24時間耐久レース。1周約13kmのコースの大半が公道で、耐久レースにも関わらず速さも極めなければ勝利できない。トヨタはトップカテゴリー「LMP1クラス」に2台の「TS040 HYBRID」を投入。ライバルもみなハイブリッド車で、「ここでは誰もが必死にハイブリッドシステムのいっそうの技術革新を目指している」と、開発エンジニアは熱く語る。世界最高峰の舞台で、人と技術が磨かれ、そしてクルマが鍛えられる。その挑戦の先に「いいクルマづくり」のさらなる進化がある。

WEC(世界耐久選手権)



全日本ラリー選手権

お客様が普段走る道をいかに速く走るかを競うラリーの国内最高峰、全日本ラリー選手権は、「いいクルマづくり」のための最高の舞台のひとつだ。トヨタ各部署から集められた5人の若者は、みなモータースポーツとは無縁のメカニックたち。実戦を重ねながら、ヴィッツ・ターボをいちらから開発していった。彼らの努力は第5戦で完走・クラス2位という結果を得る。「本当に感動しました。もっと信頼性をあげて、速さも追求したい」と語るチーフメカニック。もっと「いいクルマづくり」をめざす彼らの挑戦はこれからも続く。

五大陸走破プロジェクト

“いいクルマづくり”のためにトヨタ社員の感性を磨くことを目標とした2014年の「豪州走破プロジェクト」を強化させ、2015年から「五大陸走破プロジェクト」をスタートさせた。まずはデスバレーの酷暑地やアラスカ、カナダなどの極寒地など、北米大陸の厳しい道を約半年間に渡り走破。グローバルトヨタ34万人が心をひとつに“もっといいクルマづくり”を推し進め、より多くのお客様が笑顔になれるよう、TOYOTA GAZOO Racingの「現地現物」のチャレンジは、2020年のゴールを目指して進む。



モータースポーツを通じて、「クルマの楽しさ」と「夢」を届けたい。

世界最高峰と呼ばれるレースから幅広い人が楽しめる参戦レースまで。すべては、モータースポーツの感動を、多くの人と分かち合うために。

SUPER GT



Super Taikyu



SUPER FORMULA



NASCAR



DAKAR RALLY



モータースポーツで 鍛えた走りの味。 クルマ好きとともに進化する 「GRMN / G's」

世界一過酷なコースと言われ、
世界中の自動車メーカーが車両開発を競うドイツ・ニュルブルクリンクを舞台に、
「クルマの味づくり」を続けている **TOYOTA GAZOO Racing**。
そのテストドライバーが、サスペンションやボディ剛性、シート、ペダルに至るまで、
トータルでチューニングを施したスポーツコンバージョンシリーズ「**G's**」。
さらに、走る楽しさを一般道からサーキット走行にまで広げた台数限定モデル「**GRMN**」。
理想の味を追い求める2つのコンプリートカーブランドが、
自分だけのクルマにこだわる多くの人に、新たな「クルマの夢・楽しさ」を提示する。



GRMN

GRMN Model

GRMN 86 Prototype

ニュルブルクリンク24時間レースに3年間参戦する中で生まれたGRMN 86。24時間走り続けるという過酷なレースにおいて、ドライバーがいかに楽しめ、そして気持ちよく速さを引き出せるかを考え抜いたこの車両は、スポーツカー然としながら、乗り心地と操縦安定性を両立したクルマに仕上げている。



G's

G's Model

スポーティな走りを幅広いお客様へ

詳しくは http://gazooring.com/grmngs/g_s_lineup/ をご覧ください。



G's AQUA



G's HARRIER



G's PRIUS



G's MARK X



G's Vitz

Fun to Drive on your own

誰でも走る楽しさを学べるドライビングレッスン



STEP1

waku-doki
「フルブレーキ/スラローム体験」
ドライビングの基礎を楽しく学べる

東京・お台場にあるMEGA WEBで随時開催。カッパいブレーキをかける「フルブレーキ」や、パイロンをかわしながらリズム良く走行する「スラローム」など、クルマと仲良くなるために知っておくべき動きの変化を、安全に楽しく体験できます。



STEP2

waku-doki
「サーキットを走ろう!」

自分のクルマでサーキットを走ってみたい方へ

サーキット初心者の方が普段お乗りのクルマで参加出来るプログラムです。プロのインストラクターのレクチャーに従って、スムーズなハンドル操作やライン取り、ブレーキタイミングなど、サーキット走行の基本を学べます。



STEP3

SPORT DRIVING
LESSON

本格的なドライビングテクニックを学びたい方へ

走行技術を磨きたい上級者を対象とした、本格的なプログラムです。一流インストラクターが基礎から実践テクニックまでレクチャーします。86/BRZ Race、Netz Cup Vitz Raceなどのレースに参戦する方にもおすすめです。

あなたも参加できるモータースポーツ



Netz Cup Vitz Race
元祖ナンバー付ワンメイクレース

もっと手軽にレースに参加できるよう、2000年にスタートした参加型モータースポーツの草分け的存在。Vitzのみで戦うNetz Cup Vitz Raceは2015年も北海道、東北、関東、関西、西日本の5シリーズで全17戦(各シリーズ成績上位者によるグランドファイナル)を開催予定です。



86/BRZ Race
ナンバー付でハイレベルなレースも

FRスポーツとして人気の86/BRZで、しかもナンバー付き車両で参加できるのが、GAZOO Racing 86/BRZ Raceです。2015年は全日本級の選手も参加するプロフェッショナルと、アマチュアオンリーのクラブマンの2シリーズがそれぞれ8戦開催されており、ハイレベルなレースを選手の力量に合わせて楽しむことができます。



TRD Rally challenge

ラリー初心者も参加OKの「週末ラリー」

クルマ好きの方が手軽にエントリーできるラリーイベント。北は北海道から南は佐賀県まで全国各地で開催しています。日曜日だけの1Dayラリーなので開催地や道中の観光を楽しむなど、旅行気分でも週末ラリーを楽しめます。

waku-dokiゾーン@MEGA WEB

東京・お台場のMEGA WEB内にある「waku-dokiゾーン」は、見て乗って感じるクルマのテーマパークです。サーキットのピットや自宅ガレージをイメージして作られた展示スペースや体験イベントからは、クルマを持つ楽しさやクルマで走る楽しさを体感できます。また、カフェも併設されているので、ゆったりとクルマについて語り合うこともできます。



所在地 〒135-0064 東京都江東区青海1丁目3番12号 営業時間 11:00~21:00(エリアによって営業時間が異なります) ホームページ <http://gazooring.com/pages/eventexhibition/megaweb/>



※写真はイメージです。各会場によってイベント内容は異なります。

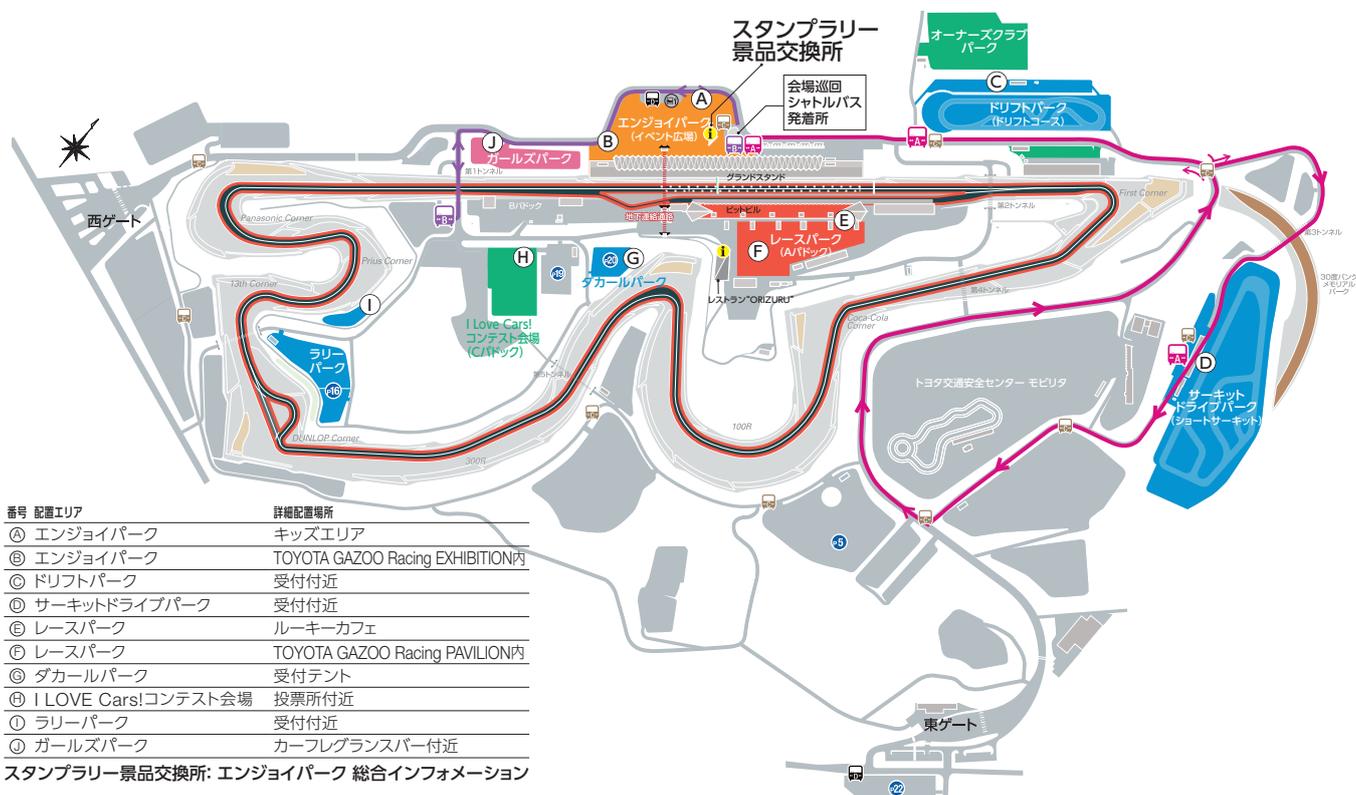
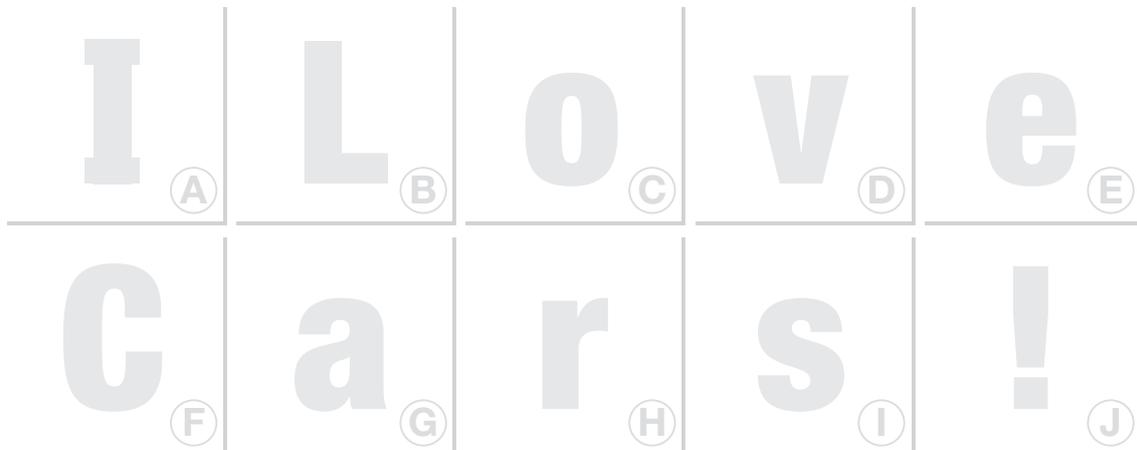
TOYOTA GAZOO Racing PARK

子供から大人まで、さらには免許を持っていなくても楽しめる「TOYOTA GAZOO Racing PARK」を全国各地で開催。レーシングカーの展示をはじめ、親子で楽しめる本格カーの運転や、レース車両分解・組立パフォーマンス、ドリフト観戦など、多彩なイベントが盛りだくさん。世代を問わず、そして男性も女性もすべてのクルマ好きが楽しめる「TOYOTA GAZOO Racing PARK」へ、ぜひ遊びにお越しください。

TOYOTA GAZOO Racing FESTIVAL

スペシャルスタンプラリー

トヨタガズーレーシングフェスティバルの会場を回って景品をゲット!



番号	配置エリア	詳細配置場所
㊤	エンジョイパーク	キッズエリア
㊦	エンジョイパーク	TOYOTA GAZOO Racing EXHIBITION内
㊨	ドリフトパーク	受付付近
㊩	サーキットドライブパーク	受付付近
㊪	レースパーク	ルーキーカフェ
㊫	レースパーク	TOYOTA GAZOO Racing PAVILION内
㊬	ダカールパーク	受付テント
㊭	I LOVE Cars! コンテスト会場	投票所付近
㊮	ラリーパーク	受付付近
㊯	ガールズパーク	カーフレグランスパー付近

スタンプラリー景品交換所: エンジョイパーク 総合インフォメーション

スタンプ一つから景品がもらえる! スタンプを全部ためると先着で豪華景品をプレゼント!

※景品には数に限りがございます。無くなり次第終了とさせていただきます。

[参加賞] ※台紙1枚につきご同伴者数分交換

スタンプ1個でもらえる!

I Love Cars! バッグ



&

AKB48 Team 8 supported by TOYOTA
「会いに行くアイドル」を
コンセプトにした
AKB48 Team 8 の
「クルマサークル」
オリジナルステッカー

[コンプリート賞] ※スタンプ台紙1枚につきTシャツ1枚交換

スタンプ10個(先着3,500名様)



2015年SUPER FORMULA
“ダブルチャンピオン獲得記念”
Tシャツ

スタンプ10個全部達成された方には先着で3,500名様に「2015年SUPER FORMULA“ダブルチャンピオン獲得記念”Tシャツ」をプレゼントいたします!

SAFTY DRIVE

お帰りの際は十分に気を付けてお帰りください。またのお越しを心からお待ち申し上げます。

TOYOTA GAZOO Racing